

PRESS RELEASE

運慶

特別展

祈りの空間——興福寺北円堂

Special Exhibition

Expressing Prayer,
Capturing Form

Buddhist Sculptures by
UNKEI

from the Northern Round Hall of Kohfukuji Temple



本展の収録の一部は、「助成プロジェクト」における文化財の修理事業に充てられます。

TSUMUGU
文化財の未来を拓く

800年余り前、戦禍や病、災害に悩まされた時代に

再興された北円堂。

そこに安置された本尊弥勒如来坐像は、

次に悟りを開き地上に降り立つと約束された未来のほどこけ。

脇に控えるのは弥勒の教えを広めた実在の兄弟僧、無著と世親。

そして四方を守る四天王。

運慶たちがこめた祈りは今も静かに満ちている。

ごあいさつ

国宝・興福寺北円堂は平城遷都の立役者・藤原不比等の功績を称え、元明・元正天皇の発願によって養老5(721)年に建立されました。その後、永承4(1049)年、また治承4(1180)年歳末の平重衡による南都焼き討ちと2回焼失しました。奈良仏師運慶は一門を率い、承元2(1208)年暮れ北円堂諸像の造立を始めました。玉眼の手法を駆使し写実性の到達点に立った奈良仏師達。さらにその限界を乗り越えた彫眼の本尊・弥勒如来は運慶が求めた造仏の頂点です。承元4(1210)年に再建された北円堂ですが、安置された諸尊はその後に在所を変えています。

本展は鎌倉再建時の北円堂内陣の再現で、興福寺でも二度と拝観できない荘厳となっています。

法相宗大本山興福寺
貫首 森谷英俊

【興福寺北円堂について】

藤原不比等の追善供養のため、その一周忌にあたる721年8月に元明・元正天皇が、長屋王に命じて建立させたと伝えます。興福寺伽藍の中では西北隅に位置していますが、ここは平城京を一望の下に見渡すことのできる一等地で、平城京造営の推進者であった不比等の霊を慰める最良の場所でした。度重なる災禍に遭い、1180年の南都焼き討ち後、1210年頃に再建されました。現存する興福寺の堂宇の中で最古の建物で、国宝に指定されています。八角形の円堂で、内陣には同じ八角形の須弥壇があり、本尊・弥勒如来坐像をはじめとする9軀の仏像が安置されています。奈良時代の建築の特徴を残した和様建築の傑作として知られており、日本に現存する八角円堂で最も優美な建築と賞賛されています。



開催趣旨

奈良・興福寺の北円堂は、本尊の国宝・弥勒如来坐像と両脇に控える国宝・無著・世親菩薩立像が、鎌倉時代を代表する仏師・運慶晩年の傑作として広く知られています。北円堂は運慶の仏像が安置される空間をそのまま伝える貴重な例なのです。北円堂は通常非公開ですが、修理完成を記念して弥勒如来坐像の約60年ぶりの寺外公開が決定いたしました。本展は、弥勒如来坐像、無著・世親菩薩立像に加えて、かつて北円堂に安置されていた可能性の高い四天王像を合わせた7軀の国宝仏を一堂に展示し、鎌倉復興当時の北円堂内陣の再現を試みる奇跡的な企画です。



国宝 四天王像のうち広目天(中央左)

鎌倉時代・13世紀

国宝 7 軀のみで構成された至高の空間

世親菩薩立像

国宝 世親菩薩立像
運慶作
鎌倉時代・建暦2年(1212)頃



古代インドで活躍した僧で、無著の弟です。無著が老年相にあらわされるのに対して、世親は壮年の姿です。憂いをたたえながらも、まっすぐに見据えるまなざしの先には、弥勒が下生するはるか未来が見えていいるはずです。

遙か未来を見据えるまなざし



弥勒如来坐像

国宝 弥勒如来坐像
運慶作
鎌倉時代・建暦2年(1212)頃
※写真は展示されません。



堂内を満たす静かなる威厳

南都焼き討ちのあと復興された北円堂の本尊像です。古典彫刻に学んだ成果をいかに発揮した、運慶一門による傑作と評価できます。その堂々とした圧倒的な存在感を、会場で体感してください。修理後初公開です。

日本彫刻史上、 運慶史上、 最高傑作。

法相宗の根幹である唯識教学を修めたインドの古代僧の肖像です。たとえ無著が誰かを知らなくとも、本像の表現する精神性の高さは見る者を圧倒する力を持ちます。日本彫刻史上の最高傑作です。弥勒像と並ぶ姿を是非。

見るものを圧倒するリアリティ

無著菩薩立像

国宝 無著菩薩立像
運慶作
鎌倉時代・建暦2年(1212)頃



国宝 四天王像のうち持国天(中央右)

鎌倉時代・13世紀

四天王像

現在では中金堂に安置されていますが、北円堂の鎌倉復興時に運慶一門によって造像された可能性が指摘されています。静かな表現の弥勒像や無著・世親像と、激しい動勢の四天王像。その対比の妙を展示室でお楽しみください。

力強さと美しさ



国宝 四天王像のうち多聞天(中央左)

鎌倉時代・13世紀



高橋一生 プロフィール:1980年東京都生まれ。数多くのドラマ、映画、舞台などで幅広く活躍。舞台 NODA・MAP『フェイクスピア』で第29回読売演劇大賞 最優秀男優賞を受賞。主演映画『岸边露伴は動かない 懺悔室』が公開中のほか、連続ドラマW『1972 渚の螢火』(WOWOW)が今秋放送予定。

展覧会広報大使に、俳優の高橋一生さんが就任！

昨年、縁あって奈良の法隆寺でお仕事をさせて頂いたことをきっかけに、法隆寺周辺から天川まで、時間の許す限り周らせて頂きました。

前々から訪れたかった、自分にとってはじめての奈良。

日本最初の都と云われるその場所に、この国の原初の一姿を見た感覚がありました。

当時の日本が置かれていた隣の国々との関係を含め、そこから日本が島国としての独自性を如何にして昇華させていったのか、様々な思いを馳せました。

和様建築の傑作と云われる興福寺北円堂と、そこに安置される仏像、そして仏師である運慶に焦点を当てた特別展の大使としてのお仕事に、お声掛け頂けたことを嬉しく思います。これまで実際に見た運慶作の仏像は興福寺1300年記念展示、15年ほど前の釈迦如来像頭部のみだったと記憶しています。また再び縁が巡り、運慶作品と向き合えること、有り難く思います。

釈迦の入滅から2000年後。二つの時代を経た三番目の時代。

仏教の世界では1万年続くとされた末法の世。

興福寺が創建された奈良時代は飢饉や伝染病が蔓延し、運慶ら奈良仏師達がノミを振るったかの時代は、戦乱に明け暮れていたと聞きます。

これまでよりも多くの人々に向け、新しい救済を形として示した運慶の写実と抽象、虚と実を自在に行き来する手腕と感性、最後まで変わり続けた在り方、そこから生み出された像の数々は、ある種現代も尚続く末法の世とそれを生きる私に、何かをもたらしてくれるのではないか。今から期待が膨らむばかりです。

音声ガイド

本展広報大使を務める高橋一生さんが音声ガイドも担当。ナレーションや朗読など、声の仕事にも定評のある高橋さんが、本展の魅力を紐解き、時を超えて再現された運慶の祈りの空間へと誘います。目だけでなく耳でも、特別な空間をご堪能ください。

開催概要

特別展「運慶 祈りの空間—興福寺北円堂」

Special Exhibition Expressing Prayer, Capturing Form Buddhist Sculptures by UNKEI from the Northern Round Hall of Kohfukuji Temple

- ◎会期 2025年9月9日(火)～11月30日(日)
- ◎休館日 9月29日(月)、10月6日(月)、14日(火)、20日(月)、27日(月)、11月4日(火)、10日(月)、17日(月)、25日(火)
- ◎開館時間 午前9時30分～午後5時 *入館は閉館の30分前まで
- ◎会場 東京国立博物館 本館特別5室
- ◎主催 東京国立博物館、法相宗大本山興福寺、読売新聞社
- ◎特別協賛 キヤノン、大和証券グループ、T&D保険グループ、明治ホールディングス
- ◎協賛 JR東日本、清水建設、竹中工務店、三井住友銀行、三井不動産、三菱ガス化学、三菱地所
- ◎特別協力 文化庁
- ◎協力 非破壊検査
- ◎お問い合わせ 050-5541-8600(ハローダイヤル)

*入館方法や観覧料等の情報は、確定し次第、展覧会公式サイト等でお知らせします。

*展示作品、会期、展示期間、開館時間、休館日等については、今後の諸事情により変更する場合があります。

TNM 東京国立博物館 本館 特別5室
TOKYO NATIONAL MUSEUM [上野公園]

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館ウェブサイト <https://www.tnm.jp/>

報道関係

お問い合わせ

特別展「運慶 祈りの空間—興福寺北円堂」広報事務局(共同PR内)

〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア10階

E-mail: unkei2025-pr@kyodo-pr.co.jp TEL.03-6264-2382

公式SNS・公式サイト

展覧会公式Instagram: @unkei_2025

展覧会公式X: @unkei_2025

展覧会公式サイト:

<https://tsumugu.yomiuri.co.jp/unkei2025/>



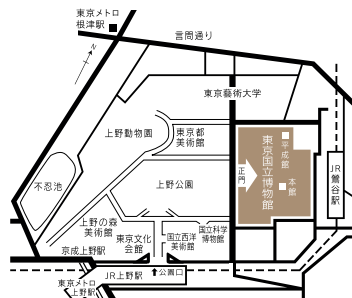
〈Instagram〉



〈X〉



〈公式サイト〉



○JR上野駅公園口・鶯谷駅南口より徒歩10分

○東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅、
東京メトロ千代田線根津駅、
京成電鉄京成上野駅より徒歩15分